

# すかし【透】



土岐市妻木町

光を透過する薄さ、美しさを備えた磁器 土岐市妻木町

里山の風情が漂う妻木町にある丸直製陶所。奥田さん一家が営む窯元で、光を透過するほど薄い磁器で知られる。「うちはこの薄づくりの器を明治時代からヨーロッパの輸出用につけています」と語る7代目の将高さん。その父・直樹さんに成形作業を見せてもらう。型に入れた土を、コテの角度などを微調整しながら1ミリ前後の薄さに引き延ばして



いく。器を彩る模様は銅版転写の技法によるもので、母・浩子さんが担当する。模様が印刷された和紙を、水を含ませた刷毛でなぞりながら器に貼り付け、模様を転写させる。窯入れ後、22~23時間かかる焼成は父子が夜を徹しての作業だ。「1時間おきに窯の中を覗き、父の長年の経験に裏打ちされた感覚で“炎の雰囲気”を見極め、火力や焼成時間を調整します」。薄づくりのカップでアイスコーヒーをいただくと、直接唇に



触れた繊細な薄さが心地よく、愛おしい。職人の手技が息づく美しい器と出会えた、その喜びを感じながら家路についた。

**N** 事前の連絡で工場見学にも対応  
丸直製陶所

**Note** 岐阜県土岐市妻木町116 ☎0572-57-6433  
営業時間/9:00~16:00 定休日/不定休

東海環状道 土岐南多治見ICより約15分

技術力が高く評価され、国内でもセレクトショップなどからオリジナル製品のオーダーが増えている。「難しい要求にも、代々受け継いできた技で応えていきたい。女性視点の器の提案など、今後も新しいものづくりに挑戦し続けたいですね」(将高さん)。

